
look at the sky

天駆ける翼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

look at the sky

【Nコード】

N2458M

【作者名】

天駆ける翼

【あらすじ】

空を見上げれば、また彼に会える。

いつでも、どこでも、彼は空とともにあるのだから。

空を見上げるのが好きだった。

まっ白な雲が散らばっている空も、雲ひとつない青空も、夕暮れ時の紅く染まった空も、幾千の星が瞬く闇夜の空も、とにかく空を眺めるのが好きだった。

どんよりと曇った梅雨の空でさえも、大好きな空の一つだった。

けれど、私が本当に好きだったのは、空じゃなかった。

私の隣で、空を眺めている彼のことが好きだったのだ。彼の隣で、彼と一緒に眺めている空が好きだったのだ。

ずっとそのままでいられたら、どんなにしあわせだっただろうか？

？

あの日から、私には空を見上げる理由ができた。彼が、空の向こうへと旅立っていったから。

彼に会いたかった。

もっと彼の声を聞きたかった、もっと彼と笑いたかった、もっと、もっと、もっと彼と

願いは止まることなくあふれ続けた。

してほしいことがいっぱいあった。してあげたいこともいっぱいあった。

一緒にやりたいことだって、もちろんいっぱいあったのだ。

でも、それはもう叶うことはないだろう。

彼はもう、私の隣にはいないのだから。

あの日、空は彼と私とを隔てる壁となった。

青くて、綺麗で、透明な、でも向こう側は絶対に見せてくれない。そんな、見えない壁に変わってしまった。

彼の姿は、もう見られない。

彼との記憶は、もう増やせない。

彼と空を見上げることは、もうない。

あなたが旅立ったあの日、私ははじめて空を恨んだ。

？

つらい時は彼と泣いた、嬉しい時は彼と笑った。
過ちは彼と悔み、成功は彼と喜んだ。

私の隣にはいつも彼がいた。彼の隣にはいつも私がいた。
そして、私たちの上にはいつも空があった。

けれどあなたはもういないのだ。
私のそばに戻って来てくれることは、もうないのだ。
残ったのは私と、空だけ。

あなたが旅立ったあの日、私ははじめて一人で空を見上げた。

ほら、見てごらん。綺麗な空だ。

声が聞こえた気がした。

涙が止まらなかった。

？

それでも私は空を見続けた。

彼とのたくさんの思い出は、すべて空とともにあったから。

空を見ていると思いだすことができる。

彼の姿を、彼の声を、彼の笑顔を、

彼の、ぬくもりを。

悲しみに暮れて、ただ泣くことしかできなかった私に
それを思い出させてくれたのは、空だった。

私は空が好きだ

会わせてはくれないけれど、思い出させてくれた。

彼との思い出は、悲しいことばかりじゃなかったはずだ、と。

嬉しい思い出が、楽しい思い出が、いっぱいあったはずなのだから、
と。

それを私に教えてくれた、

そんな空が私は好きだ。

だから私は今日も見上げよう

彼と会うために、空を、見上げよう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2458m/>

look at the sky

2010年10月11日19時47分発行